

・今回の勉強会の中で何点か心に残ったことがあるが、その内のひとつが「できなかったことだけじゃなく、できたことについても振り返りをしてほしい」ということだ。

「○=できてること」だから、振り返る必要がないと思っていた。

でも、○にたどり着くまでに色んな思考錯誤や過程があって、そこをちゃんと評価してほしい。意図を大事にしてほしいという陽子さんからのメッセージが心に刺さった。

そして、具体例を元に話を聞いたことで、意図がないものは振り返りようがないんだということ、めちゃくちゃ実感した。効果的な振り返りをするためには、まず「意図があること」が前提なんだなあ。

今年勉強会で何度も話が出た「明確化」にも繋がる考えだと思った。

---ここから続き---

そして、できなかった時だけじゃなく、何でできたのか原因を探ることも大事なんだということ、正直「○」がつくことで、自己肯定感は多少上がるかもしれないけど、何が積み上がったのかと問われると、答えに詰まる。それが今までの私で、なんだか今までの自分の停滞感の答えをみつけてもらった気分だった。

意図や原因を言語化できるところまで落とし込むことで、自分の成長が実感できるし、何より再現性が上がるんだろうと思った。

そして、もう一つ心に残ったのが、年間目標に最低1日1hは時間を取ってくださいという話。それくらい時間またはお金をかけないと、成果なんて出ないよと。

陽子さんが大学受験を例に話をしている、受験生が1日1hも勉強しないのに目標を語っていたら、覚悟が足りないと思うだろう。それと同じことをやってるのかと思わず苦笑してしまった。成果を出したかったら最低1hというのは、物量として意識して取り組んでいこうと思う。

そして、年が変わることで1からスタートという気持ちがあったが、1年やってきたサンプルがあるんだから、それを次年度に活かすことが年間の振り返りのメリットだと気付かせてもらった。

年間だけじゃなく、振り返りという観点でたくさんのヒントをもらった。今年は成果班の活動の中で、振り返りをする機会が増えたが、やっぱりまだまだ「○」か「×」かを重視していて、その裏まで見てなかったと思う。まずは「意図」を意識して振り返ることから始めようと思う。

(E.M 40代女性 埼玉県)